

平成 2 8 年 9 月

伊東市議会 9 月定例会

一 般 質 問 要 旨

伊 東 市 議 会

一般質問順序

- | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|------------|--------------|
| 1 | 四 | 宮 | 和 | 彦 | 君 | (9月12日(月)) | 10時から10時50分) |
| 2 | 篠 | 原 | 峰 | 子 | 君 | (9月12日(月)) | 11時から11時50分) |
| 3 | 重 | 岡 | 秀 | 子 | 君 | (9月12日(月)) | 13時から13時50分) |
| 4 | 鈴 | 木 | 克 | 政 | 君 | (9月12日(月)) | 14時から14時50分) |
| 5 | 鳥 | 居 | 康 | 子 | 君 | (9月12日(月)) | 15時から15時50分) |
| 6 | 佐 | 藤 | 龍 | 彦 | 君 | (9月13日(火)) | 10時から10時50分) |
| 7 | 浅 | 田 | 良 | 弘 | 君 | (9月13日(火)) | 11時から11時50分) |
| 8 | 山 | 口 | 嘉 | 昭 | 君 | (9月13日(火)) | 13時から13時50分) |
| 9 | 杉 | 本 | 一 | 彦 | 君 | (9月13日(火)) | 14時から14時50分) |

※ 質問時間は、進行状況によって変更することがあります。

一 般 質 問 要 旨

議 員 四 宮 和 彦

1 ふるさと伊東応援寄附金について、以下5点伺う。

(1) 平成28年3月定例会において、「返礼品の送付について検討する」との答弁があったが、その後具体的な検討はされたか伺う。

(2) 返礼品の選定について、具体的に伺う。

(3) 同定例会において、「地方創生戦略に盛り込んだ本市ならではの特色ある事業を充当事業に加えることなども検討」するとの答弁があったが、どのような事業が検討されたか伺う。

(4) ふるさと伊東応援寄附金制度の周知宣伝方法について伺うとともに、ポータルサイトの有効な利用方法についてどのように考えるか伺う。

(5) ふるさと納税においては、返礼品だけでなく寄附手続の簡易さも大切な要素である。本市への寄附受け入れの際には、金融機関、信販会社等との提携が必要であるが、こうした金融関係機関との連携について伺う。

2 地方再生の政策ビジョンにおける、税制面からの改革の可能性について、以下2点伺う。

(1) 地方税である固定資産税について、条例による本市独自の税率の設定、特例の見直しは可能か伺う。

(2) 空き家対策については、空家等対策の推進に関する特別措置法の施行により税制面からも対応が可能となったが、廃屋等における危険除去という視点だけでなく、地域振興、商業振興の視点から空きビル、空き店舗対策を検討できないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 篠 原 峰 子

1 平成23年3月に策定された第三次伊東市保健計画の中で、「幼稚園・保育園就園後に問題が明らかになってくる発達障害の早期発見・早期対応のため、5歳児健診の導入を検討する必要があります」とあり、現在、本市において、心身の発達等で継続的な支援を必要とする子供が増加傾向にあることから、5歳児健診の導入は急務とを感じるが、今後の取り組みについて伺う。また、子供の発達や発育に関して不安を抱えている保護者への支援体制を強化する必要があると考えるが、その取り組みの現状と今後の見通しについて伺う。

2 小・中学校のいじめや不登校対策に関し、以下2点伺う。

(1) 現在の市内の小・中学校の不登校の実態と、学校や家庭、周囲のサポート体制について現状を伺う。

(2) いじめや不登校などの対応として、スクールカウンセラーの配置がされており、重要な役割を果たしているが、各学校に常勤していないことから、支援専任教諭として増員すべきと考えるが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 重 岡 秀 子

1 保育園の待機児童対策について、以下3点伺う。

(1) 待機児童の現状について伺う。

(2) 入所の選考基準について伺う。

(3) 待機児童解消のためには、0歳児から2歳児の定員をふやすなど具体的な方策が必要と考えるが、いかがか。

2 浜岡原子力発電所における原子力災害を想定した「浜岡地域原子力災害広域避難計画」の中で、藤枝市及び焼津市の避難先の一つに本市が指定されているが、その受け入れ体制について伺う。また、伊豆半島も避難先として安全とは言い切れないと考えるが、市長の見解を伺う。

3 就学援助制度の手続について、以下2点伺う。

(1) 就学援助制度は子供の貧困対策として重要であると考えているが、申請手続業務の多くを教職員が担っているのが現状である。教職員が子供たちとかかわる時間をふやすためにも、就学援助に関する業務を市費負担による学校事務職員の増員、または市の業務への移管によって軽減すべきと考えるが、いかがか。

(2) 本市では就学援助制度の申請に際し民生委員・児童委員の意見を求めているが、すでに国の制度は改正されていることもあり、廃止を検討する考えはないか伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鈴 木 克 政

1 移住促進事業について、以下4点伺う。

(1) 移住促進連絡会議の進捗状況について

(2) 移住・定住をテーマとした、第5回「いとう創造大賞」について

(3) 日本版C C R C（高齢者地域共同体）の取り組みについて

(4) 若年層の移住促進について

2 本年度、城ヶ崎自然研究路と地久保の森において駐車場とトイレが整備されるが、過去に整備されたものも含め、その有効活用について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 鳥 居 康 子

1 マイナンバー制度について、以下３点伺う。

- (1) 昨年１０月からマイナンバー制度が施行され、全市民を対象に個人番号が通知されたが、本人に届かずに市に返送された件数を伺う。また、本年１月から申請者に個人番号カードが交付されているが、その申請状況を伺う。
- (2) 今後、社会保障や税、災害対策の分野でマイナンバーが活用されるとのことだが、個人番号カードの申請を積極的に促す考えはあるか伺う。
- (3) 個人番号カードは、身分証明書としての利用以外に、コンビニなどでの住民票等の取得や図書館の利用カードとしての活用など、市区町村独自に取り組むことができるが、行政サービスの向上を図る観点から本市の考えを伺う。

2 市営天城霊園は、本年４月現在、１，８２８区画の墓所が整備されているが、墓所の使用者募集状況を伺う。また、家族構成の変化などにより需要が多様化していると考えますが、ご遺骨のみを預けることのできる納骨堂等を整備する考えはないか伺う。

3 観光施策について、以下２点伺う。

- (1) 本市の人口ビジョン、総合戦略の中で、２０２０年訪日外国人宿泊者数１０万人を目標としており、無料公衆無線ＬＡＮの整備、宿泊施設、観光施設、商店等の従業員の外国語能力向上や免税店登録の推進施策が示されているが、その取り組み状況を伺う。また、外国人観光客への対応について、今後の課題を伺う。
- (2) 国の平成２８年度第２次補正予算案において、大型クルーズ船に対応した港湾整備が示されているが、本市の港湾を利用した誘客対策について、考えを伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 佐 藤 龍 彦

- 1 市営海浜プールの老朽化や全天候型スポーツ施設整備への市民要望などの課題があることから、本市の運動施設の建設計画等について総合的に話し合いを進めるためのプロジェクトチームを設置するなど検討に入るべきと考えるが、いかがか。

- 2 一般建築物の施工不備が原因で、自然災害等による被害につながりかねない現状があり困っているという声を聞くことがある。特に基礎工事の確認は重要であると考えますが、建築基準法に基づく中間検査について、本市ではどのように実施しているのか伺う。

- 3 相次ぐ自然災害により住民の生命が脅かされる中、防災アプリを開発し、市民へ提供している自治体があることから、本市においてもアプリを開発する必要があると考えるが、いかがか。

一 般 質 問 要 旨

議 員 浅 田 良 弘

1 各町内会や自治会において維持管理するごみステーションの清掃用具等購入に対する助成について、制度化する考えはないか伺う。

2 成年後見制度の利用の促進に関する法律が施行されたことから、成年後見制度推進に関し、以下２点伺う。

(1) 成年後見制度の取り組み及び啓発活動について

(2) 同法が示す、いわゆる市民後見人の育成について

3 児童虐待防止対策に係る取り組み及び通報体制について伺う。

4 通学路の安全対策について、以下２点伺う。

(1) 通学路における危険箇所の点検及び調査について

(2) 門野中学校の通学路における街路灯のＬＥＤ化について

一 般 質 問 要 旨

議 員 山 口 嘉 昭

1 市内の観光スポット、公共施設、各商店街等への無料公衆無線LANの設置状況及び今後の整備計画について伺う。

2 本市の教育行政について、以下2点伺う。

(1) 児童・生徒を対象とした薬物乱用防止教育について、取り組み状況及び今後の方針を伺う。

(2) 小・中学校の不登校及びいじめや暴力行為等の実態及び問題点を伺うとともに、今後の課題と対策について伺う。

一 般 質 問 要 旨

議 員 杉 本 一 彦

平成26年4月に改訂された「伊東市地震・津波対策アクションプログラム」を踏まえ、本市の震災、風水害等における危機管理について、以下7点伺う。

- 1 小・中学校の校舎や体育館、児童福祉施設、市営住宅を含む市有公共建築物の耐震化の現況及び防災拠点施設のガラス飛散防止措置の進捗状況を伺う。
- 2 津波避難計画の策定に向けた進捗状況、津波避難協力ビルの指定状況及び津波監視機器の整備状況を伺う。
- 3 緊急輸送路の確保を図る取り組みに関し、緊急輸送路沿いの落下物対策及びブロック塀の耐震化について、進捗状況を伺う。
- 4 市全体の情報収集・連絡体制の強化を図る取り組みを伺うとともに、特に孤立予想集落における通信手段とその整備状況について伺う。
- 5 被災後の市民生活を守る取り組みに関し、避難所の整備及び防災倉庫の整備率について伺う。
- 6 緊急物資の備蓄促進について、市民の意識をより向上していく取り組みについて伺うとともに、市が備えるべき緊急物資の内容と量、また、市の掲げる目標値に対する現況を伺う。
- 7 地域防災訓練の充実と強化を図る取り組みの中で、中・高校生の地域防災訓練への参加状況を伺う。